



2018年4月26日(木)

NO. 853号 本号3頁

## 新党は「国民民主党」 希望と民進が新党結成へ

希望の党の玉木雄一郎、民進党の大塚耕平両代表は24日、新党について協議し、新党名を「国民民主党」、略称は「国民党」にすることを決めました。連合のメーデー前の決着をめざしていましたが、ほぼ合意し、大型連休明けに旗揚げする予定です。

玉木氏は協議後、記者団に「国民が第一の政治を目指すためにゼロからスタートする」と語りました。また、大塚氏は「国民主権、国民生活、国民経済を守り向上させ、発展させていく」と語りました。

### 基本政策に、9条への自衛隊明記を認めないことを盛り込む！

新党綱領では「穏健保守からリベラルまでを包摂する中道改革政党をつくる」と宣言しています。

基本政策では、集団的自衛権の限定的行使を認めた安保法制について、当初の両党の協議では「違憲と疑われる部分の削除も含め、必要な見直しを行う」としていましたが、「違憲と指摘される部分を白紙撤回することを含め、必要な見直しを行う」と「白紙撤回」の文言が入りました。

また、原発は「2030年代ゼロを目指す」としました。これも当初の協議では、新党の後ろ盾となる連合の政策を考慮してか、「原発ゼロに向けて、明確な現実的シナリオを提示する」とし、目標年限はありませんでしたが、「2030年代」と年限を入れています。

そして、改憲については協議の結果、「9条をはじめ現行憲法の条文について論理的整合性がない恣意的・便宜的な憲法解釈の変更は許さない」とし、9条への自衛隊明記に対しては「自衛権を行使できる限界を曖昧にしたまま、明記することは認めない」との政策となりました。

当初骨子として報道された基本政策よりも、修正を求める国民の声、そして、他の野党からの当初の基本政策では「参院選での候補一本化は極めて難しいだろう」との批判が出され、それらを踏まえ、だいぶ変更されました。

綱領と基本政策は両党の党内手続きを経て、正式に決めることになります。また、玉木氏は、希望の党特別顧問の小池百合子前代表（東京都知事）と東京都内で会談し、新党結成方針を報告。小池氏は「改革を引き続き進めてもらいたい」と新党結成を受け入れる意向を伝え、自身は参加しない方向です。

希望の党は、松沢成文参院議員ら民進党との新党結成に反対する議員ら5人程度が分党する方針です。また、両党内には新党結成について「時期尚早」などと反発する議員もおり、新党に参加せず、立憲民主党に入党したり、無所属になったりする見通しです。

## 報道ステーション世論調査でも

### 内閣支持率30%を切り、29% 第二次以降最低に

報道ステーションは21～22日に行った世論調査で、NNNの世論調査に続き、安倍内閣の支持率が30%を切りました。安倍内閣の支持率は先月より3.6ポイント下がって29.0%、『支持しない』が55.2%に上りました。第二次安倍政権が発足して以来、過去最低の支持率です。

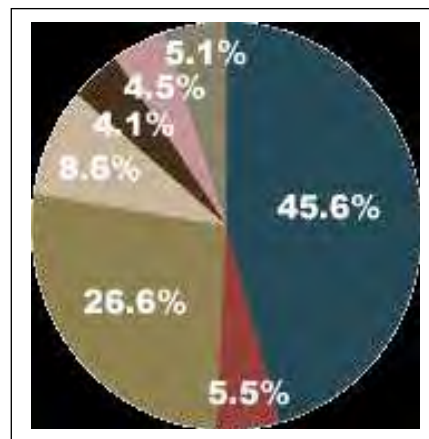
また、『安倍総理にあとどれくらい政権を担当してほしいか』との問いに、『9月の自民党総裁選まで』が38%、『すぐに辞めてほしい』が23%と約6割の人が早期退陣を求めています。なお、「2021年の今の衆議院の任期まで」が21%、「なるべく長く続けてほしい」は13%に過ぎませんでした。さらに、麻生財務大臣が森友問題や福田事務次官の責任を取って『辞める必要がある』と答えた人は51%に上り、「やめる必要はない」は36%でした。

## 支持しない理由のトップは、「人柄が信頼できない」

支持しない理由は何ですか？の問いには、「安倍総理の人柄が信頼できないから 45.6%」でトップでした。国会前集会でも自作のプラカードで多いのが、「うそつき安倍やめろ」。国民は安倍首相を信頼していません。即、辞任すべきです。

以下、次のような回答でした。

- ・支持する政党の内閣でないから 5.5%
- ・政策に期待が持てないから 26.6%
- ・大臣の顔ぶれが良くないから 8.6%
- ・他の内閣の方が良さそうだから 4.1%
- ・その他 4.5%
- ・わからない、答えない 5.1%



## 各地のとらきくみ

### 宮城 オールみやぎの会等が呼びかけ、19日行動

仙台市ではオールみやぎの会や「安民法制の廃止を求める女性議員・元議員有志の会」などが呼びかけ、19日行動が行われました。

有志の会の日本共産党、立憲民主党、社民党の県議、市議ら10人がずらりと並び、公文書改ざんやセクハラ問題など疑惑や暴走が「底なし」の安倍政権を批判し、「安倍首相は責任をとって潔く辞めるべき」「9条を守ることは市民の暮らしを守ることに繋がる」と訴えました。

日本共産党のふなやま由美参院宮城選挙区候補は「民主主義を破壊する安倍政権には、国民の命を守ることに繋がる」と訴えました。

「もう安倍政権につける薬はない」と語気を強めた女性（81）は、参加者が呼びかけた安倍9条改憲NO！の3000万人署名に応えました。

### 前日18日には、森友加計学園問題の責任を求める昼休みデモ行進

宮城県労連と安保破棄実行委員会は18日、安倍政権で起きている森友加計学園問題の責任を求める昼休みデモ行進を行いました。

「安倍政権での森友・加計問題ははじめ、イラク日報隠し、裁量労働制のデータ改ざんなど、もう我慢は限界だ。安倍政権は総辞職を」と訴え、「市民と野党共闘で政治を変えよう」と市民に呼びかけました。

デモ行進後の終結集会では、高橋正行県労連議長、安保破棄実行委員会の代表委員が主催者あいさつ、来賓として日本共産党のふなやま由美氏があいさつしました。

### 秋田 「安倍やめろ」の声を秋田からも巻き上げよう

秋田県憲法センターは19日、秋田市のJR秋田駅前前で県民集会・デモを行いました。虻川高範代表は、国家、政治・行政、軍隊が国民を弾圧し、加害者となった戦前の歴史を繰り返さず、「憲法改悪を阻止するために声をあげよう」と訴えました。

日本共産党の藤本ゆり参院選秋田選挙区候補は、「セクハラ問題での安倍政権の態度は、女性として絶対許せない。一日も早く政権を終わらせるためにがんばりましょう」と呼びかけました。

14日の「国会前行動」に参加した夫婦は、集会の熱気を報告。「ウミを出し切るというが、すべての『ウミ』はローマでなく安倍首相に通じている。『安倍やめろ』の声を秋田からも巻き上げよう」と訴えました。

## **茨城** 「安倍内閣の退陣を求める茨城県民共同アクション」集会開催

「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」は19日夕、水戸市のJR水戸駅北口で、「安倍内閣の退陣を求める茨城県民共同アクション」と銘打った集会を開き、約150人が参加しました。

主催者あいさつをした県民連絡会の田中重博代表は、公文書改ざんや財務次官のセクハラ問題などにふれ、「安倍政権は、崖っぷちだが、改憲をあきらめていない。『安倍改憲NO!』の署名を集めて世論を盛り上げ、野望を打ち砕こう」と力を込めました。

リレートークでは、安倍政権に対する怒りの声が噴出。「財務次官のセクハラ発言は許せない」「学生の間でも『戦争はやめてほしい』『安倍首相はアメリカの言いなりだ』などの声が広がっている」、「原発推進と戦争法は一体のものだ」、「私学に通う高校生として、森友学園への不正値引きによる国有地払い下げは許されない」などの発言が続きました。

デモ行進した集会参加者らは、「国家の私物化反対、反対」「安倍内閣は総辞職、総辞職」などのコールを響かせ、沿道の市民にアピールしました。

## **松本** 安倍政権の退陣を求める集会とデモ、100人が参加！

長野県松本市の駅前広場で19日夕、「本気で止める戦争！松本アクション」が安倍政権の退陣を求める集会とデモを行い、100人が参加しました。

集会では、信州市民連合の又坂隼人氏が「国家の統治機能そのものが崩れる危機だ」と指摘。共産党の清沢達也中信地区委員長、社民党の中川博司松本総支部代表が連帯あいさつ。市民団体が次々とアピールし「民主主義を破壊する安倍政権に、もうまかせられない」などと訴えました。持っているボードを高く掲げる女性、学校の帰り道に足を止める高校生の姿も見られました。

集会後、「終わりにしようよ、安倍政権」「憲法、壊すな」「9条守ろう」などとアピールし、市街地をデモ行進しました。

事務局の戸田俊子さん（松本憲法会議事務局長）は、「市民団体の方々から『何かしようよ』『デモやろうよ』の声に後押しされて、準備は短時間だったが『主権者の声を聞け』をアピールできて良かった」と語りました。

長野市では同日昼、19日定例行動でスタンディングとスピーチでアピールしました。

## **高知** 自民党県連前で「安倍首相は早期に退陣」などとシュプレヒコール

高知憲法アクションは23日、高知市の自民党県連の事務所前で宣伝し、「安倍首相は早期に退陣」などとシュプレヒコールをあげました。

約30人が参加。呼びかけ人田口朝光氏は「国民の声を無視する安倍内閣国民の怒りが全国で大きくなっている。改ざんのごまかしの安倍政権に正当性はない。早急に退陣させないと、日本の民主主義は守れない」などと訴えました。

参加者はリレートークで「うみを出すというが、安倍首相自身がうみだ。真実を隠す闇の政治はお断りだ」「安倍首相を支える閣僚を出して来た県連県民の声を中央に届けよ」などと訴えました。

通りかかった男性（72）は、「安倍首相は森友・加計疑惑に関与しているのに、しらばっくれている」と話しました。

